

令和5年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の課題発見能力や問題解決能力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めるため組織的かつ持続的な授業改善に取り組むとともに、専門性の向上を図る教育に重点を置いた教育課程の編成をめざす。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>①ICTを活用した組織的な授業改善を継続して進め、生徒が主体的に学ぶ意欲を高めるための授業づくりを行う。令和6年度新カリキュラムの実施に向け、選択授業や時間割について協議を進める。</p> <p>②生徒会本部役員を中心に、各委員会と連携し、生徒の主体的な活動を支援して学校行事の充実を図る。</p>	<p>①授業見学への積極的な参加や研究授業・公開授業を計画的に行い、ICTの効果的な活用による授業改善を進め、生徒による授業評価の結果から授業の工夫・改善・分析を行う。新カリキュラム完成年度に向け、学校全体として協議を進める。</p> <p>②体育祭、文化祭、球技大会において生徒が安全に活動できるよう支援し、事故なく活発な行事を推進する。</p>	<p>①ICT利活用による授業を実施し、年2回の研究授業・公開授業をとおして研究協議を進めることができたか。生徒による授業評価の結果より、授業の改善が確認できたか。</p> <p>②学校行事についてアンケートを実施し、大半の生徒から満足であるという回答が得られたか。</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①安心・安全な学校生活を送るための支援体制、指導体制を確立し、豊かな人間性や社会性を備えた人材を育成する。</p> <p>②専門学科の特性に由来する部活動を含め、教育活動における部活動の取組を支援する。</p>	<p>①登下校中の交通安全、特に自転車の正しい乗車、あるいは専門高校生として望ましい生活態度や身だしなみに関する指導を行う。</p> <p>②部活動の適切な指導を徹底し、事故なく安全な活動を支援するとともに、生徒のニーズに合わせ、生徒の充実感を高める指導をする。</p>	<p>①定期的な校外の交通安全指導や身だしなみ指導、講話等とおし、生徒の安全・安心な学校生活の実現や社会性の育成をはかる。</p> <p>②顧問やインストラクターの専門分野を活かした部活動を充実させ、不適切な指導や事故なく活発な部活動指導を推進する。</p>	<p>①校外における交通安全指導や身だしなみ指導、あるいは各種講話が効果的であったか。</p> <p>②新設部発足など、生徒のニーズに合わせた部活動の活性化を行い、アンケートで満足度を調査し、大半の生徒から満足という回答が得られたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	①夢と活力ある産業人材の育成に向けて、専門高等学校の特性を生かし基礎的な知識や技能を体得して、社会的・職業的に自立する人物の育成を図る。	①農商併置校としての特性を生かし、インターンシップや農業体験を通じ知識や技能の体得、進路への活用を目指す。 ②学年毎に適したガイダンス等の実施により進路への意識を向上させるとともに自己理解を深め、自身の希望進路に見合う基礎学力やマナーの定着を図る。	①本校の特性や生徒のキャリアデザインに即した、インターンシップを周知し参加を促す。 ②ガイダンスや説明会等を多様な分野で実施するとともに、キャリアパスポートの活用により、生徒の進路意識を向上、視野の拡張を促す。	①就職希望者はインターンシップや校内のガイダンスに参加することができたか。 ②進路への意識向上により、進路室の利用が活性化したか。キャリアパスポートにより自己理解を深め、進路選択に活用できたか。生徒の挨拶やマナーの意識は向上したか。
4	地域等との協働	①地域に根ざした様々な産業との連携を重視した教育に取り組むとともに、産業社会に役立ち産業社会の発展に寄与する人材を育む。 ②地域に信頼される学校づくりを推進する。	①農業科と商業科がそれぞれの特色を生かして協力し、外部機関との連携を図ることで専門教育の充実を推進する。 ②本校の取組みを積極的に地域に発信し、一層の理解を促進する。	①地域や外部機関と連携・協働して教育活動の充実を図るとともに、地域に貢献する活動を推進する。 ②地域や外部機関へ情報を発信することで本校の理解促進と協力関係を整備する。	①農業科と商業科が協力して、地域や外部機関と連携・協働した教育活動を実施できたか。 ②本校の取組みを発信し、連携・協働のための協力関係を整備できたか。
5	学校管理 学校運営	①教員の働き方改革を推進するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図るとともに、一層の事故防止に努める。 ②教育環境の整備や学校防災の取組により、生徒・保護者・地域との信頼関係を構築する。	①教員の働き方改革推進の観点から、各種視聴覚及び情報関連機器を更に利用しやすいように整備し、幅広い利用層に対して研修会を計画的に実施する。成績処理における誤入力をなくす方策を検討・実施する。 ②防災備蓄品の整備と災害発生時に対応する防災計画を作り、校内美化を中心とした教育環境を整備する。	①ICT機器を活用しやすいように消耗品等を整備する。また、研修会を実施し、全教員が授業等で機器のより有効な利用ができるように目指す。成績処理における誤入力を防ぐために問題点を確認する。 ②防災備蓄品の整備と情報の共有を図る。地震と火災を想定した防災訓練を計画する。校内美化に努める。	①ロイノート等の研修会を学期に1回以上実施する。その成果として、クロームブックの貸出件数が月間で100件以上になったか。また、成績処理において誤入力の件数が半減したか。 ②防災備蓄品の整備と情報共有が出来たか。防災訓練を実施出来たか。校内美化を推進することが出来たか。

